

る教授・学生等が主催する次の六件の学会、研究会、研修会等に助成が決定しています。

・第十八回マクロブアージ分子細胞生物学国際シンポジウム
五月二十日～二十一日

・第二十六回熊本医学・生物学国際シンポジウム
六月十九日

・熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成
九月一日～三月三十一日

・本九祭・医学展十月三十日～三十一日
・薬学展
十月三十日～三十一日

・第十一回熊本大学医学部医学科医学教育ワークショップ
日程未定

第二十六回熊本医学・生物学国際シンポジウムの開催のご報告とお礼

第二十六回熊本医学・生物学国際シンポジウムを、熊本大学拠点形成研究B「ライフスタイルとストレスシグナルの先端研究拠点」平成二十二年度シンポジウムと、組織的な大学院教育改革推進プログラム「臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践」との合同シンポジウムとして、平成二十二年六月十九日に山崎記念館において開催いたしました。

本シンポジウムは、一九八四年以来、毎年開催され、それぞれの時代の要請に応じたテーマを取り上げ、熊本における医学・生物学の発展に大いに貢献して参りました。第二十六回のシンポジウムでは「酸化ストレス研究のフロンティア：活性酸素による生命機能制御」をメインテーマとし、Ronald Paul Mason 先生 (NIEHS/NIH, USA)、Young-Joon Surh 先生 (Seoul National University, Korea)、Csaba Szabó 先生 (University of

Texas, USA)、Albert van der Vliet 先生 (University of Vermont, USA)、岩切泰子先生 (Yale University, USA)、Philip Eaton 先生 (King's College London, UK)、井上正康先生 (大阪市立大学)、中別府雄作先生 (九州大学)、高橋和彦先生 (北海道薬科大学)、高橋伸一郎先生 (東京大学)、船戸洋佑先生 (大阪大学) といった、国内外の第一線で活躍中の研究者にご講演頂きました。また、本学から、西川武志先生 (代謝内科学)、磯濱洋一郎先生 (薬物活性学)、藤井重元先生 (微生物学) より、最新の研究成果をご発表頂きました。

本学教員、大学院生を含め五十余名の方々のご出席を頂き、いずれの講演においても活発な討論がなされ、当該分野の研究の発展と学術交流に寄与できたものと確信しております。盛会のうちに無事シンポジウムを終了することができましたのもひとえに財団法人肥後医育振興会、熊本大学、大学院生命科学研究所の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

熊本大学大学院生命科学研究所 微生物学分野 教授 赤池 孝章

平成二十二年度(第十五回)肥後医育振興会医学研究助成を行う

平成二十二年度(第十五回)肥後医育振興会医学研究助成金授与候補者の選考が、平成二十二年九月一日(水)午後六時から、肥後医育振興会助成選考委員会において行われました。

平成二十二年度の助成選考委員会は、それぞれの所属機関から推薦を受けた次の七名です。熊本大学大学院生命科学研究所からは竹屋元裕教授(基礎系)、谷

原秀信教授(臨床系)、中川和子教授(薬学系)、森田敏子教授(保健学系)が、熊本大学の生命科学研究所の小椋光教授、熊本県医師会を代表して倉津純一理事、関連病院からは国立病院機構熊本医療センターの河野文夫副病院長で構成され、互選で竹屋元裕教授が委員長となつて、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

医学研究助成金の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究所から六名、同大学院医学教育部から二名、同医学部附属病院から六名、同薬学部から二名、同研究センター等から三名、崇城大学から一名、熊本保健科学大学から一名の計二十一名であり、その中から次の六名が授与候補者として選考され、神原理事長に推薦後、理事会において承認されました。

・董 飛

熊本大学大学院生命科学研究所 生体機能薬理学 学術研究員

「高血圧性脳・心血管障害に対するAT1受容体ブロック剤(ARB)とカルシウム拮抗薬(CCB)の併用療法の有用性と意義」

・岩槻 政晃
熊本大学大学院生命科学研究所 消化器外科学 助教

「消化管癌の抗癌剤感受性を規定する新規血清 exosome 中 microRNA の同定」

・藤田 雅紀
熊本大学薬学部 創薬科学(大学院先導機構) 特任助教

「海洋メタゲノムからの医薬品資源として有望な物質の合成遺伝子の探索と生物工学的な生産」

・林田 桃子

熊本大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医員

「マウス蝸牛におけるTsukushiの発現について」

・白石 善興
熊本大学生命資源研究・支援センター (アイソトープ総合施設) 技術職員

「放射線免疫療法マウスモデルマウスの開発に関する研究」

・鏑木 誠
熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科 助教

「高齢者転倒予防のための統合的動作解析を用いた刷新的評価法の確立」

平成二十二年度(第十四回)肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

医学・医療国際交流支援事業の一つとして、平成二十二年度(第十四回)肥後医育振興会外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、同日、同委員会により行われました。

本年度は熊本大学大学院医学教育部長から推薦を受けた六名の応募があり、いずれの応募者も奨学助成対象者に相応しいとして全員が授与候補者として選考され、神原理事長に推薦後、理事会において承認されました。

・ポルンクナ ラティオン
熊本大学大学院医学教育部医学専攻 博士課程一年(タイ国)

・周 波
熊本大学大学院医学教育部医学専攻 博士課程一年(中国)

・趙 睿
熊本大学大学院医学教育部 研究生

(中国)